

全体平均正答率は、全国平均を 2.6 ポイント、県平均を 1.0 ポイントを下回りました。

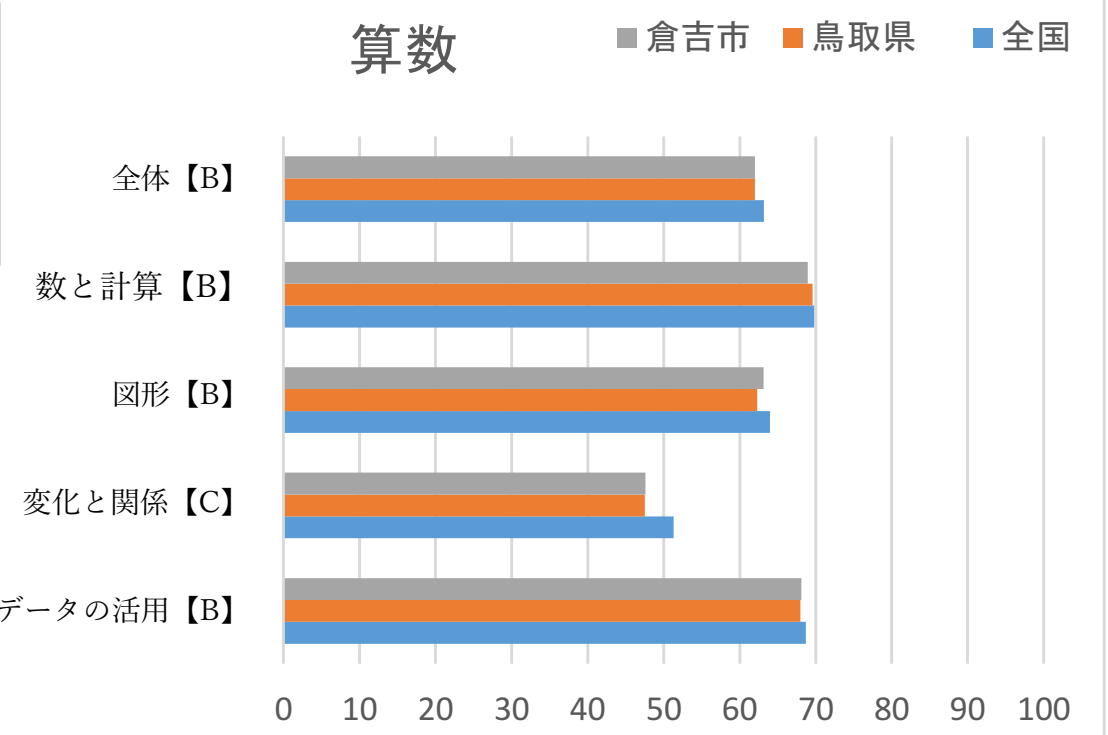
- ・「書くこと」のうち、「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける」がよくできていました。
- ・「読むこと」のうち、「登場人物の相互関係について描写に基に捉える」ことや「表現の効果を考える」問題の正答率が、全国平均や県平均と比べて低い数値でした。

評価について【 】

A：全国平均＋3%以上

B：全国平均同等から
±3%まで

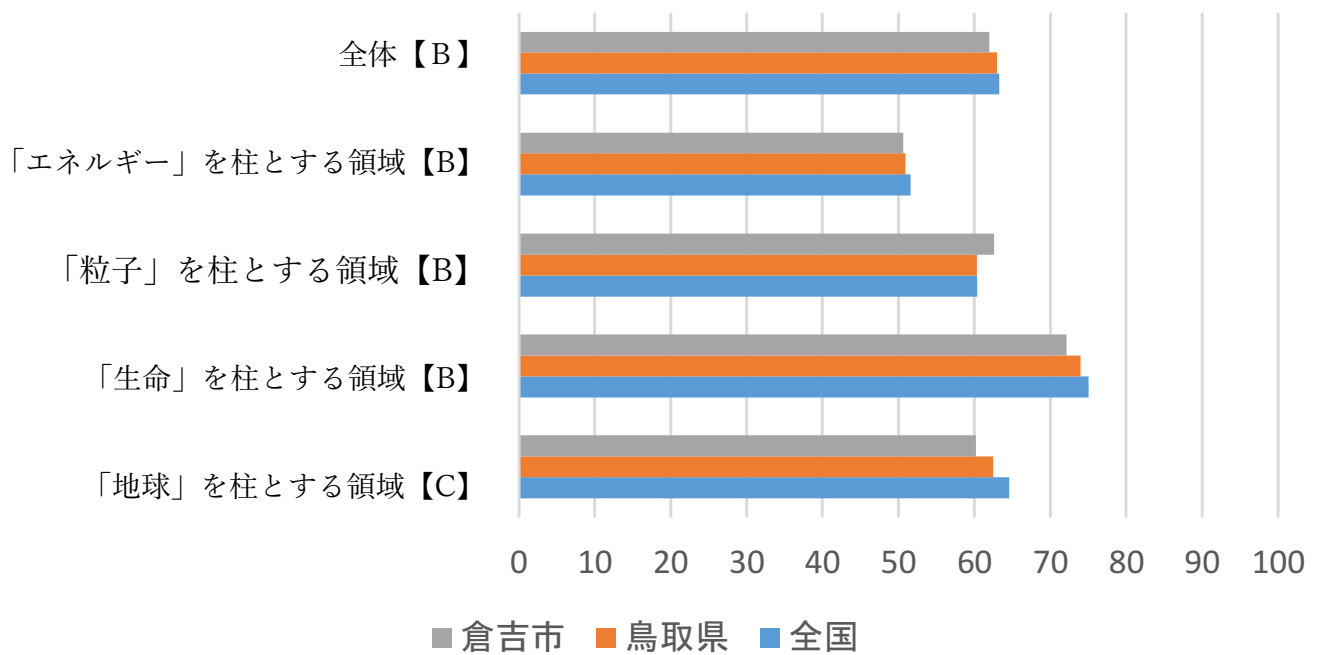
C：全国平均－3%以上



全体平均正答率は、県平均と同率で、全国平均を 1.2 ポイントを下回り、ほぼ平均レベルの学力でした。

- ・「数と計算」の問題のうち、「示された場面を選択し、除法で求めることができる理由を記述できる」ことがよくできていました。
- ・「数と計算」の問題のうち、「二つの数の最小公倍数を求める」ことや「変化と関係」の問題のうち「数量と割合の変化」について、全国平均や県平均と比べて低い数値でした。

理科



全体平均正答率は、全国平均を 1.3 ポイント、県平均を 1.0 ポイントを下回りました。

- ・「粒子を柱とする領域」のうち、「一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を書く」がよくできていました。
- ・「粒子および地球を柱とする領域」のうち、「観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して解釈し、自分の考えをもつことができる」の正答率が、全国平均や県平均と比べて低い数値でした。